



2025 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 **ユニプレス株式会社**
代表者の 代表取締役 社長執行役員
役職氏名 浦 西 信 哉
(コード番号 5949 東証プライム)
問 合 理 事 経 理 部 長
い せ 先 齊 藤 直 樹
電 話 0 4 5 - 4 7 0 - 8 6 3 1
U R L <https://www.unipres.co.jp/>

2025年3月期通期連結業績予想と実績との差異および2025年3月期通期個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

2025年2月13日に公表しました2025年3月期の通期連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、2025年3月期の通期個別業績と前期実績にも差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、当社は当該期間に係る個別業績の予想を公表しておりませんので、対比につきましては前事業年度の実績値と比較しております。

記

1. 通期連結業績予想と実績との差異

(1) 2025年3月期の通期業績予想と実績との差異

(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 320,000	百万円 7,500	百万円 8,000	百万円 △20,000	円 △448.61
今回発表実績 (B)	330,045	12,198	13,657	△21,053	△472.63
増減額 (B - A)	10,045	4,698	5,657	△1,053	
増減率 (%)	3.1	62.6	70.7	—	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	335,079	10,927	12,553	5,256	118.06

(2) 通期業績予想との差異の理由

売上高につきましては、得意先の生産台数減少に伴う部品売上高の減少幅が想定よりも大きくなかったことに加え、労務費やエネルギーコスト等の上昇に対する得意先からの回収により、前回発表予想と同水準を確保いたしました。また、営業利益、経常利益につきましては、上記の売上増加要因に加え、継続的な合理化の取り組みが奏功し、ともに前回発表予想を大幅に上回る結果となりました。

一方、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回発表予想時に想定していた中国における事業再構築に伴う事業整理損や北米における固定資産の減損に加えて、日本の精密事業につきましても、将来の収益をより慎重に見積もった結果、前回発表時には想定していなかった固定資産の減損損失を計上することとなりました。これらの結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、追加の減損損失の影響を吸収しつつ、前回発表予想に近い水準を確保いたしました。

2. 通期個別業績の前期実績との差異

(1) 2025年3月期の通期個別業績と前期実績との差異

(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A) (2024年3月期)	百万円 116,437	百万円 △164	百万円 1,989	百万円 △2,660	円 △59.71
今回発表実績 (B) (2025年3月期)	111,469	△954	4,634	△2,312	△51.87
増減額 (B－A)	△4,967	△789	2,645	348	
増減率 (%)	△4.3	－	133.0	－	

(2) 通期個別業績と前期実績との差異の理由

売上高及び営業利益につきましては、得意先の生産台数減少等により前期実績を下回る結果となりました。
一方、経常利益につきましては、主にグループ会社からの受取配当金が増加したこと等により営業外収益が増加した結果、前期実績を大幅に上回る結果となりました。
当期純利益につきましては、保有する関係会社株式の評価損が前期に比べて減少したものの、当期は当社の精密事業に係る固定資産の減損損失を計上したことにより特別損失が増加し、また繰延税金資産の取崩しにより法人税等調整額が増加した結果、前期実績に近い水準となりました。

以 上